



# 岩江中だより

第 2 2 号

発行日:平成27年 8月31日

発行:三春町立岩江中学校

電話:0247-62-8290

FAX:0247-62-8380

E-mail:school@iwae-j.fks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

## 【積み重ねた練習の成果を発揮しました。 ～仲間と「共に」！～】

8月29日(土)は、合唱、バレーボール、バスケットボールの大会がありました。

まずは、先日の田村地区中学校音楽祭に引き続いて行われた福島県合唱コンクール。12時過ぎの福島県文化センターでの本番の前に、福島市音楽堂を借用しての練習に同行しました。あいにくの雨模様の中、11時少し前に音楽堂に到着、壁一面鏡ばりの練習室で練習を開始。顧問の石井先生の指揮や指示に従い、和やかな中にも緊張感の入り交じった雰囲気の中での練習でした。仲間と「共に」声と心を合わせて練習に取り組む子どもたちをみてとてもうれしく感じました。

次は、小野町で行われている田村支部秋季バレーボール選手権大会。午前中の試合を1勝1敗で抜け、小野中学校との試合開始に間に合いました。昨年、サーブが相手コートまで届かずに苦勞していた子どもたちをみているので、この日の堂々としたユニフォーム姿に頼もしさをとても感じました。相手は強敵の小野中、この対戦・大会で確認した成果と課題をもとに、新人戦を立派に戦い抜いてほしいと思います。

最後は、田村市常葉体育館で行われていた田村地区中学校新人バスケットボール選抜大会に向かいました。男子の、船引中学校との試合の途中でした。シーソーゲームで見ているともとてもおもしろいゲームでした。9月30日(水)・10月1日(木)の新人戦本番にむけ、日頃の練習の大切さを確認したゲームではなかったでしょうか。お疲れ様でした。



## 【第2学期の学校生活について ～始業式式辞の中で子どもたちに伝えました。～】

学校において始業式は、その学期の学校の活動の方向性について確認するとても大切な機会です。自分の学生時代、校長先生がどんなお話をなさっていたかについてはほとんど記憶がありません(?)が、年度スタート時の目標を再確認し、それまでの生活を反省して、その学期にどんなことを心がけていくかについて検討した結果をもとにお話をさせていただいています。

以下にその全文を掲載いたします。実際はこれを受けて、各学年・学級においてさらに具体的な働きかけをしていくわけですが、岩江中学校の第2学期の方向性の概略についてお読みいただければと存じます。

〔平成27年度岩江中学校第2学期始業式式辞〕

平成27年度第2学期が今日から始まり、また、一日中、みなさんと一緒に過ごせることを

とてもうれしく思います。

今年の夏はとても暑い日が続きました。そんな中であって、毎日、学校に足を運び勉強会に臨んだ人、早朝からの駅伝練習に歯を食いしばって耐え続けた人、心に届く演奏をしようと合唱や伴奏の練習に取り組んだ人、家の手伝いをし地域の行事にも積極的に参加した人、プランターの花に水をあげてくれた人、夏休みの約束を守りきちんと生活できた人、ここにいるみなさんの、それぞれのがんばりの積み重ねは、みなさんを、人として、社会人として、さらに大きく成長させてくれます。よくがんばりました。

その夏休みの取り組みを土台に、今日から始まる第2学期をどのように過ごしていくかについて「共に」考えていきましょう。

岩江中学校の教育目標は、『自立』、それに迫るための、「真理」・「博愛」・「健康」・「貢献」の4つの視点、心がけることは、『こころ豊かに～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～』です。

夏休み中、勉強、駅伝、合唱などに粘り強く取り組み、最後までやり通した人の心の中には、今、とても大きな満足感や深い充実感が満ちているのではないかと思います。その満足感・充実感が心の豊かさです。**みなさんには、より大きな満足感やより深い充実感をたくさん味わっていただきたい**と思います。確かに、30分勉強しても、500メートルを走っても、音楽を1曲歌っても満足感を得ることはできます。しかし、毎日毎日粘り強く勉強を続け、仲間と共に心あわせて合唱練習を続けたからこそ、より大きく深い満足感・充実感を得ることができたのです。**『続けること』と『積み重ねること』**を大切に、日々の活動に取り組んでいきましょう。

さて、今年はその悲惨な太平洋戦争が終わって70年になります。安倍首相からは、『戦後70年談話』が発表されました。あの戦争で日本人は民間人を含め300万人を超える戦死者を出したと言われていています。戦争と学校生活に何の関係があるのと思う人もいるでしょうが、戦争や争いごとの原因には、リーダーたちが独り善がりの考えや暴力によって問題を解決しようとしたこと、そして、間違った方向へ進むのを、「だめだよ。」と言えなかった雰囲気、結果的に戦争を止められなかった社会という背景があるのではないのでしょうか。学校に置き換えてみると、**人の立場も大切にし、自分と他の人の都合の折り合いを付け行動すること、「自分のことと同じように人のことも考えよう。」**と言ってあげられる人がいること（＝貢献）、**すべての人の考えや立場を大切にし（＝博愛）、話し合いによってよりよい解決策やたどり着く目標を見つけていくこと（＝真理）**などにあきらめずに取り組むことで、誰もが安心して過ごせる（＝健康）学校・学級をめざしていけます。人任せではなく、自らに返ってくる問題として主体的に取り組む、友達や先生方と「共に」、『自立』をめざしていきましょう。

夏休み中に、みなさんからいくつかの「助けて。」という思いに接することがありました。先生方はその一つ一つに丁寧に答え、大きな問題になる前に、適切な助け船を出すことができました。もし、みなさんが心の中に、**続けられない、うまくいかない、答えがわからない、不安だ**というような思いを抱いたときには、先生方とまずはその思いを「共に」語り合い、分かち合ってみましょう。

これから始まる第2学期には日々の学校生活の他に、各種大会、文化祭、進路・受験などさまざまな取り組みが待っています。小さな満足感・充実感を、『続けること』と『積み重ね』をこころがけることで、より大きく深い満足感・充実感＝『豊かな心』につなげていきましょう。

一方で、**自分のため、人のため、チームの一員として行動することも心がけていきましょう。**自分を大切に、人のことも大切に、問題はみんなで共有し解決していきましょう。

そして、**がんばりすぎたとき、疲れたときには、『助けて。』と相手に分かるようにきちんと伝えましょう。**先生方は必ず答えます。動きます。よりよい道を『共に』見つけてくれます。安心してください。みなさんは決して一人ではありません。

平成27年度第2学期の始業式にあたり、これからの学校生活で心がけてほしいことを3つお話ししました。ここにいるすべてのみなさんが、より多くの『私にはこれがある』というものを胸に、「今日も一生懸命がんばった。」「岩江中学校でよかった。」と言えるようお祈りし式辞といたします。